

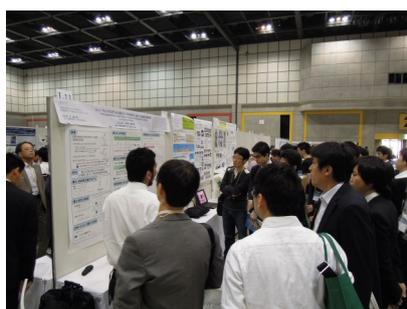
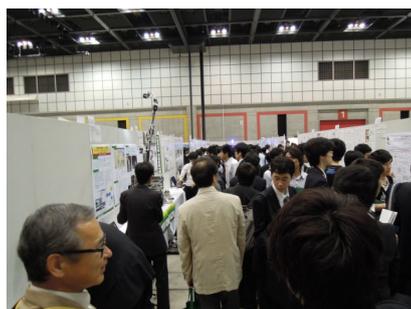


## ROBOMECH2012 開催報告

実行委員長 伊藤 友孝(静岡大)

ROBOMECH2012 IN HAMAMATSUは、「グリーン&ライフインベーションで未来を拓くロボティクス・メカトロニクス」をテーマに、5月27日(日)～29日(火)の日程で静岡県浜松市の複合施設アクトシティ浜松を主会場として開催されました。27日は、研修交流センターにて、公開シンポジウム「福島第一原発の廃止措置等に向けた機器・装置開発に関するシンポジウム」や地域交流ワークショップ、チュートリアル、バスツアーなどを実施しました。夕方から行われた部門登録者総会とホテルでのウェルカムパーティーにも多くの方にご参加いただき、大会初日から会場周辺は大変な賑わいを見せました。28日と29日には、展示イベントホールにてポスター講演と機器展示が行われました。講演件数1,306件、機器展示52ブース、カタログ展示3件と皆様から多大なご協力を賜りまして、ポスター講演ブースの周りを機器

展示ブースが取り囲むROBOMECHならではの会場配置で盛大に実施することができました。28日の午後には、金子成彦会長にご出席頂き、表彰式と特別講演、懇親会を開催致しました。講演会本体への参加者は1,912名で、機器展示関係者も合わせますと2,000名を超える皆様に会場に足をお運び頂いたこととなります。ロボティクス・メカトロニクスは、未来を拓く技術として今後ますますの発展を遂げると期待されます。来年に向けて、つくばでROBOMECH2013の準備が着々と進んでおります。ROBOMECHでの技術交流の輪が地球の豊かな未来へと繋がりますことを祈念致します。最後に、本講演会にご参加頂きました皆様、部門作成の教科書「ロボティクス」の試読配布協力を賜りました部門関係者の皆様、並びに、本講演会にご協力賜りましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。



ROBOMECH 2012 会場の様子

## 部門賞・部門一般表彰報告

去る平成24年5月28日(月)に、アクトシティ浜松で開催されましたロボティクス・メカトロニクス講演会2012にて、前年度の功績・業績

を讃えまして各賞の表彰式が行われました。各賞の内容と受賞者を以下にご紹介します。

### 1. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞

日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門では、ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の3部門賞を設けております。

#### (1) 部門功績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で、研究、教育、学会活動の面で多大の影響を及ぼし、国際的評価が高く、かつ有力な著書、論文などを著している個人または団体(法主体)に贈る。

#### (2) 部門学術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある学術業績を挙げた個人または団体(法主体)に贈る。

#### (3) 部門技術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体(法主体)に贈る。

(2 ページに続く)

〈各賞の選考プロセス〉

部門運営委員会の指名による表彰委員会(委員長は副部門長が担当)が部門賞候補者の中から日本機械学会部門賞通則第5項に基づく人数以内を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものでございます。

〈部門賞候補者の推薦方法及び時期〉

部門賞の受賞候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門賞募集は公募によるものとし、推薦または本人または団体(法主体)よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示致しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっております。

部門賞

部門功績賞	横井 一仁 (産業技術総合研究所)
	公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
部門学術業績賞	倉爪亮 (九州大学)
部門技術業績賞	三菱電機株式会社

2. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の3つの一般表彰を設けております。

(1) ROBOMECH表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門主催講演会・シンポジウムなどにおいて、研究内容に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(2) ベストプレゼンテーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、プレゼンテーション面に対して高い評価を得た個人に対して行う。

(3) 部門貢献表彰

部門への著しい貢献が認められる個人、または団体に対して行う。

(4) JRM表彰

Journal of Robotics and Mechatronics に掲載された優秀な論文の著者全員に対して行う。

〈各賞の選考プロセス〉

部門運営委員会の指名による表彰委員会(委員長は副部門長が担当)が部門表彰候補者の中から適格者を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものでございます。

〈表彰候補者の推薦方法及び時期〉

部門一般表彰の表彰候補者は原則として日本機械学会会員とします。ベストプレゼンテーション表彰は当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会の実行委員会が候補者を選考し、開催日から5ヶ月以内に表彰委員会に推薦致します。ROBOMECH表彰、及び部門貢献表彰候補者は公募によるものとし、推薦または本人よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示致しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっております。なお、ROBOMECH表彰で対象とする講演会・シンポジウムは前年度の10月1日以降、当該年度の9月30日までに開催されたものとなっております。

ROBOMECH表彰

講演題目	受賞者
振動駆動型負荷感応無段変速機を用いた完全密閉型バルブの開発 (ROBOMECH 2011)	高木 健, 石井 抱(広島大学)
マイクロプラズマによる局所アブレーション — マイクロ電極を利用したプラズマブレードによる細胞加工 — (ROBOMECH2011)	山西 陽子, 佐久間 臣耶, 萩原 将也, 川原 知洋, 新井 史人(名古屋大学)
能動スコープカメラのためのインチウォーム駆動と振動駆動の走行性能評価 (ROBOMECH2011)	石倉 路久, 竹内 栄二郎, 昆陽 雅司, 田所 諭(東北大学)
中空マイクロカプセルによる光硬化樹脂の軽量化 (ROBOMECH2011)	安井 真人(名古屋大学), 池内 真志(東京大学), 生田 幸士(東京大学)
小児外科手術支援のための多自由度持針器の開発 (ROBOMECH2011)	藤井 雅浩, 杉田 直彦, 石丸 哲也, 岩中 督, 光石 衛(東京大学)

## ベストプレゼンテーション表彰

講演題目	受賞者
歩くアンドロイドの開発	佐野 明人(名古屋工業大学)
非接触アクティブセンシングにおける対象物変形を考慮した 印加力キャリブレーション	田中 信行(東京女子医科大学)
SPAS用手術ツール導入のための多自由度ガイドチューブの開発	加藤 大香士(名古屋大学)
Mobile Mapping System における広域三次元計測のための レーザスキャナを利用したカメラ外部パラメータの推定	鈴木 太郎(早稲田大)
手指麻痺者用パワーグローブ —頸椎損傷者の自立的な生活と社会参加の支援を目的として—	諸麦俊司(長崎大学)

## 部門貢献表彰

主な功績・業績	受賞者
ロボティクス・メカトロニクス講演会2011実行委員長	則次 俊郎(岡山大学)
FAN2011実行委員長	小島 史男(神戸大学)
第14回ロボットグランプリ実行委員長	米田 完(千葉工業大学)

## JRM表彰

主な功績・業績	受賞者
3D Terrain Reconstruction by Small Unmanned Aerial Vehicle Using SIFT-Based Monocular SLAM (Vol.23, No.2 pp. 292-301, 2011 )	鈴木 太郎, 天野 嘉春, 橋詰 匠(早稲田大学), 鈴木 真二 (東京大学)

## 今後の行事の案内

- 親子ロボットのスカベンジャー工作教室  
2012年10月21日 千葉工業大学津田沼キャンパス(千葉)  
<http://www.jsme.or.jp/rmd/tech-committee/oyako2012.html>
- 東京エレクトロン九州 合志事業所見学会  
2012年11月2日 東京エレクトロン九州(株)合志事業所(熊本)
- 東急建設(株)技術研究所見学会  
2012年11月7日 東急建設(株)技術研究所(神奈川)  
<http://www.tokyu-cnst.co.jp/lab/index.html>
- ヒューマノイド・二足歩行ロボット研究の最前線  
2012年11月15日 名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリ(愛知)  
<http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/access/>
- 「未来のロボティクスを語ろう」東北支部/東北大学CREATE  
共催ワークショップ 2012年11月22日 東北大学機械系共同棟(宮城)  
<https://sites.google.com/site/robomech02/#TOC--2>
- フューチャードリーム! ロボメカ・デザインコンペ2012  
2012年12月8日 ロボスクエア(福岡)  
<http://www.ip.kyusan-u.ac.jp/J/kougaku/tb/sakaki/rmdc2012q/>
- 英語力強化合宿 Academic Boot Camp  
2013年3月初旬 幕張セミナーハウス(千葉)  
<http://www.jsme.or.jp/rmd/tech-committee/ABC2013.html>
- 第18回ロボティクスシンポジウム  
2013年3月14日～15日 山形県上市市「古窯(こよう)」(山形)  
<http://www.robotics-symposia.org/18th/>
- 第16回ロボットグランプリ  
2013年3月23日～24日 科学技術館(東京)  
<http://www.RobotGrandPrix.com/>
- ロボティクス・メカトロニクス講演会2013  
2013年5月22日～25日 つくば国際会議場(茨城)  
<http://www.jsme.or.jp/rmd/robomec2013/>

## ロボティクス・メカトロニクス講演会2013 (ROBOMECH2013 in Tsukuba) 開催案内

開催日 2013年5月22日(水)～25日(土)  
会場 つくば国際会議場(茨城県つくば市)

<http://www.jsme.or.jp/rmd/robomec2013/>

実行委員長 坪内孝司 (筑波大)

当部門主催、ロボティクス・メカトロニクス講演会2013は、2013年5月22日～25日につくば国際会議場にて、「社会に浸透するロボティクス・メカトロニクス」をテーマに開催します。会場へは、つくばエクスプレス・つくば駅前から遊歩道を南に徒歩7分程です。この遊歩道は、人搭乗型の移動機械(ロボット)の指定実験区域の一部でもあります。実験風景は近未来の街の姿を垣間見る印象で、

当テーマもここから着想しました。また、この遊歩道はつくばチャレンジの会場でもありました。当日はこれらの動態展示もできれば、と企画中です。5月22日はワークショップ、チュートリアル、23、24日にポスター講演、特別行事、25日は市民向け一般公開企画を予定しています。また、当部門発足25周年にちなむ行事も企画しております。多数の皆様のご発表・ご参加をお待ちしております。

### 第90期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 吉瀬裕 (大阪大)  
副部門長 新井史人 (名古屋大) 幹事 林原晴男 (千葉工大)  
編集: 広報委員会  
委員長 伊達央 (防衛大) 副委員長 木村仁 (東工大)  
委員 中嶋秀朗 (千葉工大) 幹事 太田祐介 (千葉工大)  
部門HP: <http://www.jsme.or.jp/rmd/>

ロボメカ部門関係アドレス

■部門ホームページURL

<http://www.jsme.or.jp/rmd/>

■部門広報委員会メールアドレス

[rmd@jsme.or.jp](mailto:rmd@jsme.or.jp)